

科目ナンバリング		U-LAS04 20017 LJ46							
授業科目名 ＜英訳＞		精神分析II Psychoanalysis II				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 熊谷 哲哉	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)		教育・心理・社会(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	月1		配当学年	全回生	対象学生	全学向
（総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）									
[授業の概要・目的]									
人間の無意識を探求し、無意識において働くものこそが人間を動かし、人間社会や文化を規定しているという精神分析の考え方は今日もなお大きな価値を持ち続けている。本講義では、精神分析という学問分野を開いたジークムント・フロイトの主著『夢解釈（Traumdeutung）』がどのような意図および関心によって書かれ、そしてどのような対象を論じているのかをじっくりと読み進め、精神分析の基本的な考え方を理解することを目的としている。									
[到達目標]									
精神分析の基本的な考え方を理解し、人間の夢や無意識の領域がどのような学問的な探求と関連しているのかを知り、人間社会や文化への洞察を深めることができるようになる。									
[授業計画と内容]									
『夢解釈』が書かれた時代背景を把握し、そしてフロイト自身の出生から伝記的な事実を確認した後、フロイトの研究における関心の推移を追いながら、主著『夢解釈』の内容を詳しく検討する。おおまかな予定は以下の通りである。									
第1回 フロイト『夢解釈』とはどんな書物か。序文を読む。									
第2回 フロイトとその時代。									
第3回 フロイト最初の著書、『失語症の理解のために』									
第4回、第5回 フロイト／ブロイアー共著『ヒステリー研究』									
第6回から第14回 『夢解釈』を読む									
授業回数は期末試験をのぞいて、フィードバック1回を含めた全15回とする。フィードバック（第15回）方法は別途連絡します。									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
対面授業の場合は、期末試験（100％）による。ただし、登録人数や授業形態等に応じて、成績評価の方法を変更することがある。講義時間中ならびに掲示による通知に注意してください。									
[教科書]									
使用しない									
[参考書等]									
（参考書）									
フロイト『夢判断（上）』（新潮社、1969）ISBN:978-4102038031									
フロイト『夢判断（下）』（新潮社、1969）ISBN:978-4102038048									
----- 精神分析Ⅱ(2)へ続く ↓ ↓ ↓ -----									

精神分析II(2)

フロイト『フロイト、夢について語る』（光文社、2021）ISBN:978-4334754433

[授業外学修（予習・復習）等]

予習として、参考書の読書。復習として、授業中に配布した資料と自分自身のノートの内容を照らしあわせて理解を深めること。
なお、授業外学修には、いわゆる「予習・復習」だけでなく、授業のなかで学んだことを各自の自習や日常や課外活動のなかで応用・実践し、生きた知識にすることも含まれる。

[その他（オフィスアワー等）]

[実務経験のある教員による授業]

分類

実務経験のある教員による実務経験を活かした授業科目

当該授業科目に関連した実務経験の内容

実務経験を活かした実践的な授業の内容